

学校沿革史

< 沿革の概要 >

昭和55年，淀地域の社会状況が急激に進行し，明親小学校の校地に1190名の児童が在籍することになった。今後，この状態では収容しきれないことから，昭和55年7月29日に分校建設委員会が設置され，幾度も委員会が開かれ建設計画が進められた。その結果，昭和59年4月1日に明親小学校内に南分校として併設開校され，昭和60年4月3日には，児童数747名，学級数19学級として京都市立美豆小学校は独立開校した。

本校の校章には，明親小学校の外郭が取り入れられ，美豆小学校の「美」を中に入れて，『美しい心，知，徳，体』の育成を願って作成された。

< 沿革の歴史 >

明治5年	(138年前)	学制頒布により，八幡高坊に小学校「知周黌」設置（美豆・際目・生津舎）	1872年
明治14年		教育令施行により，「知周黌」から分離「精義校」設置（美豆村） 校名：美豆小學校 位置：美豆村字美豆	1881年
明治24年		淀川改修に伴い，美豆の西部に校舎移転・生津に分教場設置	1891年
明治32年		宇治川改修により，「小美豆」(LM辺り)に生津より分離 尋常小学校立地	1899年
明治41年		義務教育年限延長により，美豆尋常小学校として3校を合併	1908年
昭和9年	9月	室戸台風により倒壊 再建できず，明親小学校に統合	1934年
昭和59年	4月	京都市立明親小学校内に「明親小学校南分校」として併設開校	1984年
昭和60年	4月	京都市立美豆小学校開校 児童数747（19学級）	1985年
昭和61年	12月	アスレチック 完成・大樹植樹4月淀川右岸堤防通学路完成舗装	1986年
	3月	第1回 卒業式 卒業生110名	
	4月	淀川右岸堤防通学路完成舗装	
平成3年	10月	新校舎完成（普通教室6室） 記念植樹	1991年
平成4年	4月	第1回いきいきサタデー学校開放	1992年
平成5年	1月	観察池完成（淀LC寄贈）	1993年
平成7年	4月	阪神淡路大震災 被災児童3名受け入れ	1995年
	8月	観察庭園完成・寄贈	
	9月	アイリス教室配置	
	9月	ランチルーム設置	
平成8年	10月	コンピュータ室設置	1996年
平成9年	4月	育成学級増設	1997年
平成10年	2月	大文字駅伝大会初出場	1998年
	2月	伏見西支部自主研究発表会（算数）	
	7月	5・6年対象校内キャンプ実施	
平成11年	1月	学校保健研究発表会（保健委員会研究作文 特選）	1999年
平成12年	1月	ふれあいサロン開所式	2000年
	2月	大文字駅伝大会出場	2001年
	2月	大文字駅伝大会連続出場	
平成14年	2月	大文字駅伝大会3大会連続出場	2002年
	11月	第1回「防災のつどい」開催（以降，例年11月に実施 回を重ねる）	
平成15年	1月	京都市教育委員会指定「防災・安全教育推進校」1年次研究発表会	2003年
平成15年	5月	交通安全優良学校表彰（2度目の受賞）	2004年
平成16年	1月	京都市教育委員会指定「防災・安全教育推進校」2年次研究発表会	
	4月	文部科学省指定・京都市教育委員会指定「地域ぐるみの学校安全推進校」	
	10月	「京都府学校安全優良校」表彰	2005年
	1月	文部科学省指定・京都市教育委員会指定「地域ぐるみの学校安全推進校」	
	2月	京都市教育委員会指定「みやこ学校創生事業推進校」1年次発表（国語）	
	3月	創立20周年記念式典	2006年
	1月	京都市教育委員会指定「みやこ学校創生事業推進校」2年次発表（国語）	
	8月	普通教室冷暖房化	
	9月	風力発電装置 設置（桃山LC寄贈）	
	11月	「学校安全文部科学大臣学校賞」受賞	
		『学校安全運営協議会』発足	
平成19年	2月	京都市教育委員会指定「みやこ学校創生事業推進校」3年次発表（国語）	2007年
平成20年	12月	京都市教育委員会「教育情報化研究」指定校発表	2008年
平成21年	5月	交通安全優良学校表彰（3度目の受賞）	2009年
	8月	ふれあいパーク 「かまどランド」 完成式	2010年
	3月	プールサイド改修工事竣工	
	8月	太陽光発電始動 文科省「スクール・ニューディール」構想	2011年
	12月	伏見西支部自主研究「算数科」研究発表会	
平成23年	3月	自然観察園「ビオトープ」 完成	2013年
平成25年	4月	井戸施設一式 京都淀ライオンズクラブより寄贈	
	1月	伏見西支部自主研究「算数科」研究発表会	
平成26年	2月	大文字駅伝大会出場 第15位	2014年